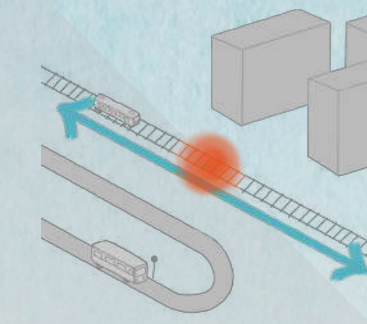


出会いの原石

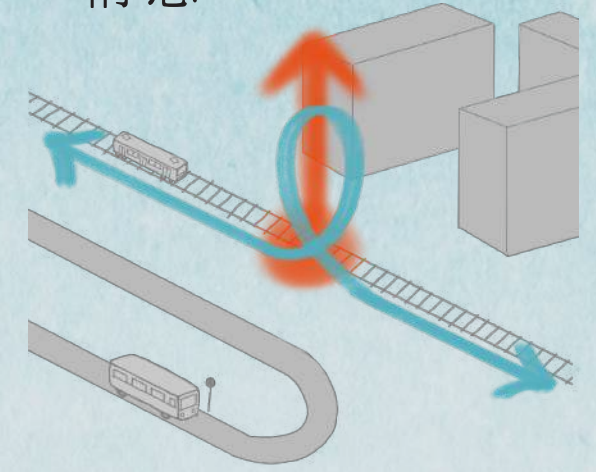
普段は”水平方向”の移動の起点として、素通りされてしまう駅。そこに”垂直方向”の要素を取り入れることで、すれ違うはずだった人々は”交差”する。そのような人々の出会いを生む、関係性のランドレベルとなる建築を目指した。

○ダイアグラム

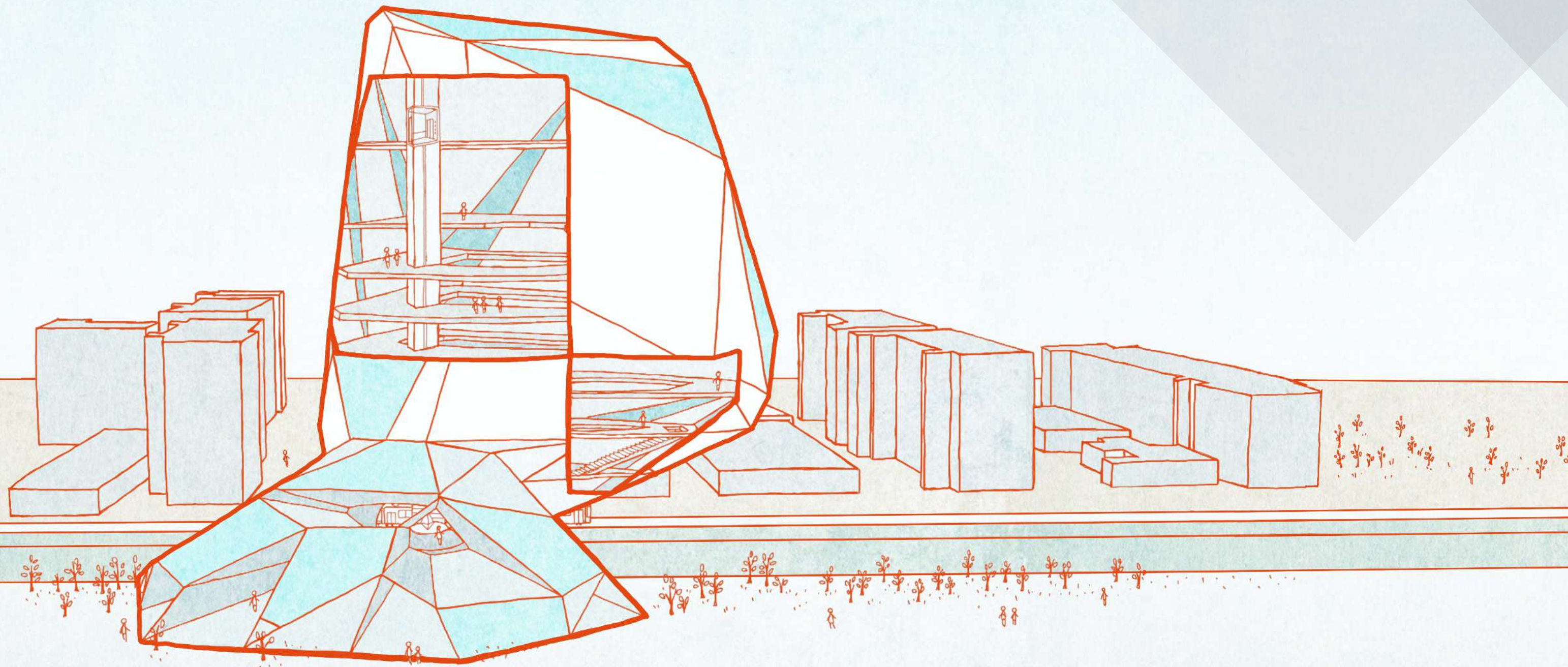
・従来



・構想



人々が一点にたまる
→エネルギーの上昇



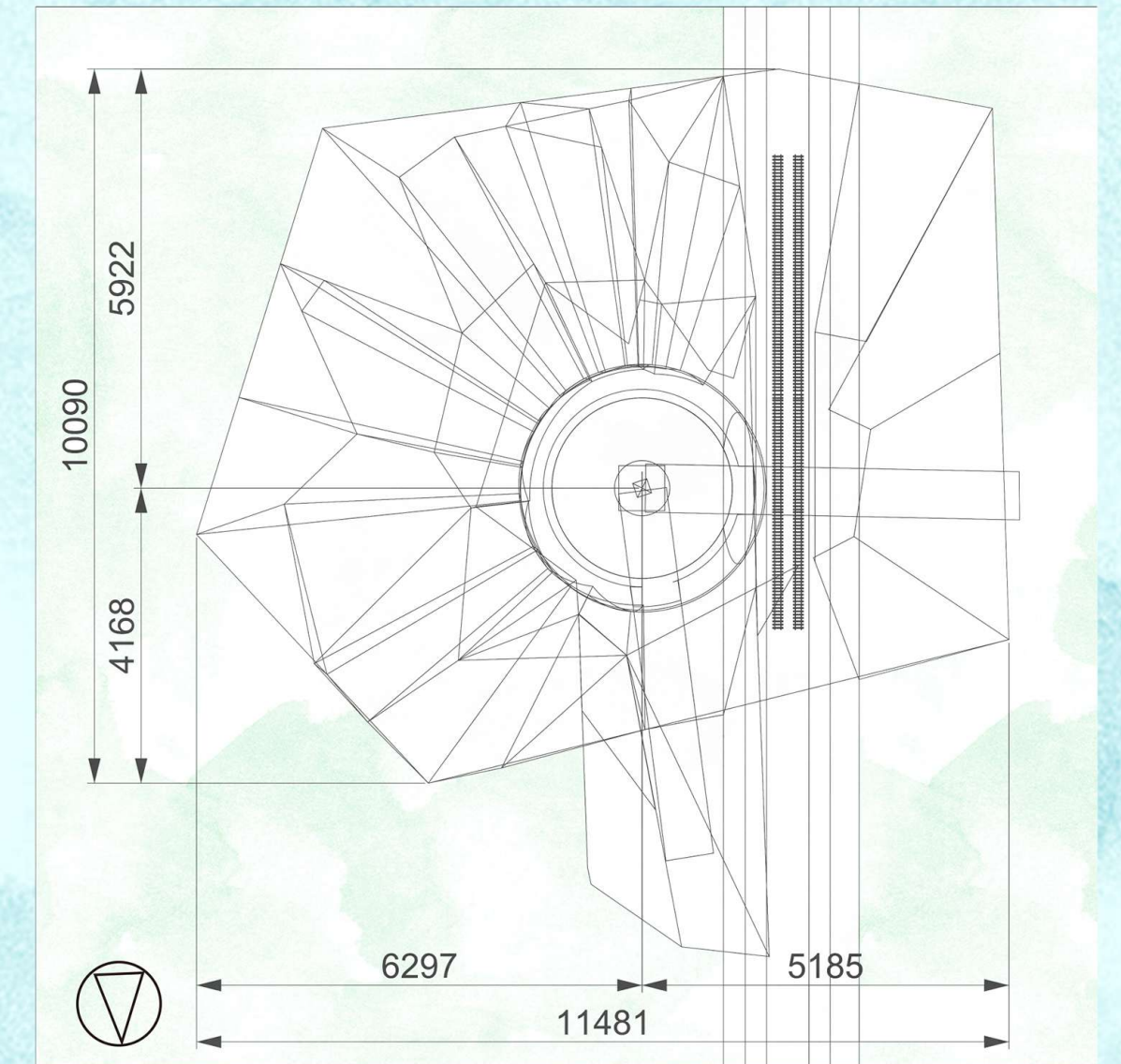
○敷地

現在、老朽化が進んだ北千里駅では、大阪府吹田市により活性化ビジョンが設定されている。その目指すところは人々の交流の場を創り出すというもので、私たちのコンセプトと一致している。また、阪急千里線の始点であるという点においても、交流の始まりの場としてふさわしい敷地であると判断した。

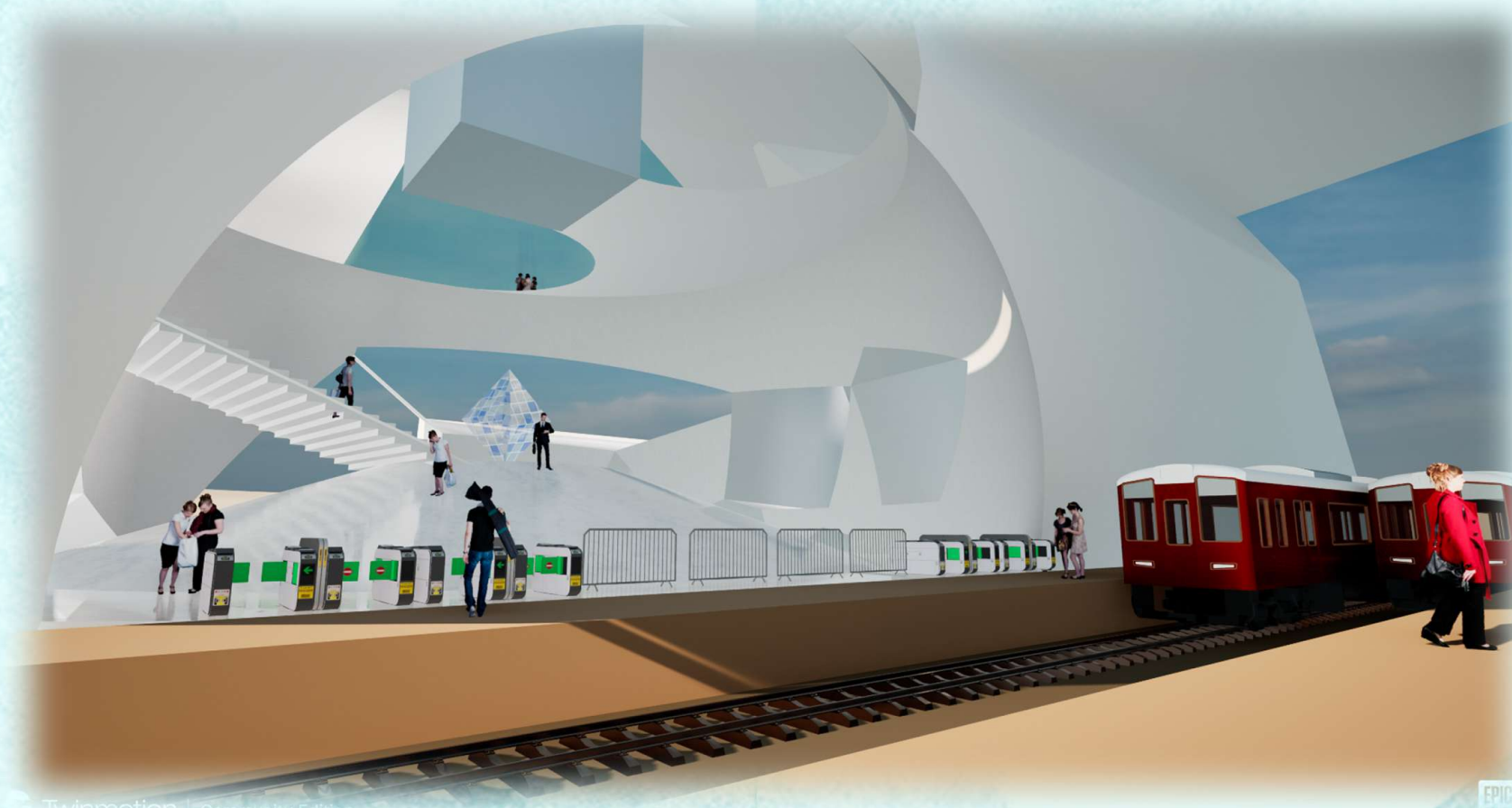




○平面図 縮尺 1:200



↑
 深まる
 交わる
 集う



○立面図 縮尺 1:150

